

金融の役割とは？

金融とは、資金に余裕がある人から必要な人に対してお金を融通する仕組みです。たとえば銀行は、個人や企業から預かった資金を、設備投資をしたい企業に貸し出したり、住宅を購入したい個人に貸したりします。銀行などの金融機関が資金の流れに関する「交通整理」の役割を担ってくれているのです。

信用創造とは

銀行は、預かったお金のすべてを貸出に回すわけではなく、預金者も、すぐにお金を引き出す人ばかりではありません。そこで、預金の一部を支払い準備のために手元に残したうえで、残りのお金を貸出に回します。これを連鎖的に繰り返すことで、預金通貨が新しく生み出され、銀行預金は増えていきます。これを信用創造といい、銀行特有の機能の1つです。

たとえば、100万円の預金があるとして、その1割にあたる10万円を残して9割の90万円を貸出に回したとします。この90万円を借りた会社Aが会社Bに全額を支払い、会社Bが90万円を別の銀行Bに預金すると、預金額は190万円になります。信用創造の仕組みによって100万円の預金のもととなって90万円分の預金が生じるわけです。

